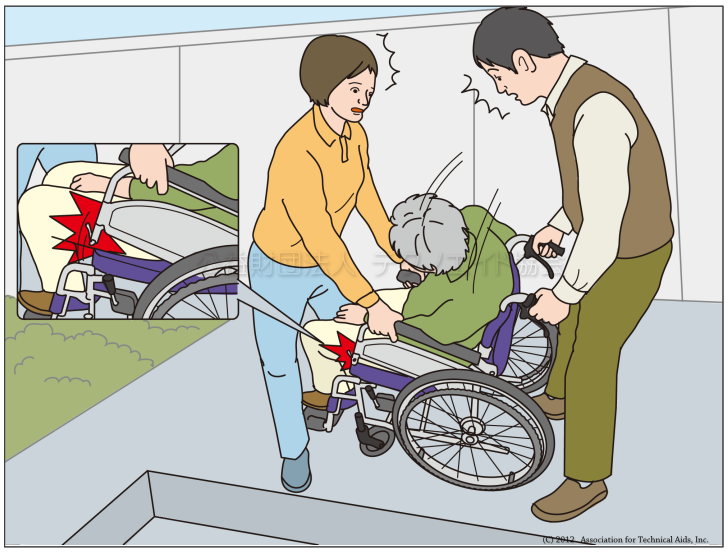
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：116

運搬時に肘掛けが跳ね上がり、バランスを崩して転倒しそうになる

場面の説明

介助者が肘掛けを握って車いすを持ち上げようとしたが、跳ね上げタイプの車いすであったため、不意にロックが外れてバランスを崩した



利用シーン	移動 階段の昇り降り 外出
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

街のバリアフリー化が進んだとはいえ、車いすを持ち上げなければならない場面は多くあります。一方で車いすの高機能化に伴い可動や取り外し式の箇所も多くなっているので、そのような箇所を持ち上げないような注意が必要になってきています。持ち上げざるを得ない場合は、持ち上げるときに握る場所を事業者に確認しておきましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：肘掛けが跳ね上がる車いすだと知らなかった
人：車いすの正しい運搬方法を知らなかった
モノ：肘掛けが跳ね上がる車いすだった
環境：スロープがない場所であった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.